



最新 オーストラリア マーケット動向

2026/1/22 発行 隔週

作成：三井住友DSアセットマネジメント株式会社
URL: <https://www.smd-am.co.jp>

為替

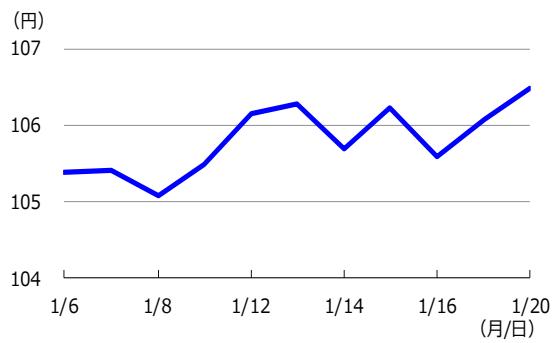
ここ2週間の豪ドルの対円レートは、上昇しました。
1月7日発表の豪州の11月CPI（消費者物価指数）でインフレの鈍化が示され、8日の豪州準備銀行（RBA）副総裁による利上げに慎重な発言もあり、豪州の早期利上げ観測が後退し、豪ドルは対円で下落しました。しかし、9日発表の米国の12月雇用統計で労働市場の底堅さが示されたことや同日の高市首相による衆議院解散検討の一部報道を受けて円安米ドル高となり、豪ドルは対円で上昇しました。その後、グリーンランドを巡る欧米対立を背景に、17日にトランプ米大統領が欧州への追加関税方針を打ち出すと、翌営業日（19日）に米ドルは対豪ドルで下落し、豪ドルは対円で上昇しました。

単位 (円)	2026/1/20	2週間前	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前
円／豪ドル	106.47	105.37	104.07	98.05	96.89	97.42

豪ドルの対円推移（過去1年）



豪ドルの対円推移（過去2週間）



(注) 左グラフは2025年1月20日～2026年1月20日、右グラフは2026年1月6日～2026年1月20日。日時はニューヨーク時間。

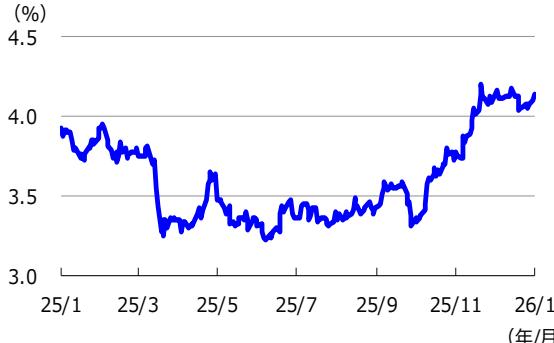
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

金利

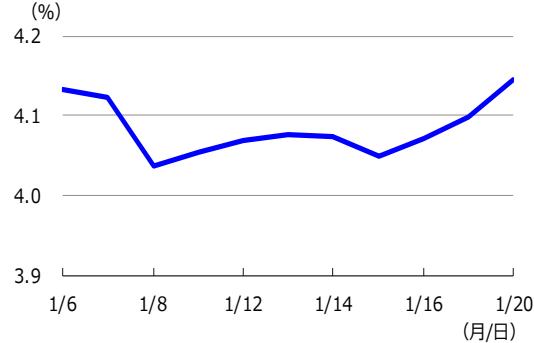
ここ2週間の豪州3年国債利回りは、ほぼ横ばいの動きでした。
1月7日発表の豪州11月CPIや8日のRBA副総裁発言を受けて豪州の早期利上げ観測が後退し、豪州3年国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。その後、方向感に欠ける動きが続くなか、米国の12月雇用統計の発表により早期利下げ観測が後退したことや、グリーンランドを巡る欧米の対立激化による財政悪化懸念が高まったことなどにより、米国国債利回りが上昇したことを受け、豪州3年国債利回りは上昇し、4.1%台まで戻してこの期間を終えました。

単位 (%)	2026/1/20	2週間前	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前
豪3年国債利回り	4.14	4.13	4.12	3.37	3.37	3.93

3年国債利回りの推移（過去1年）



3年国債利回りの推移（過去2週間）



(注) 左グラフは2025年1月20日～2026年1月20日、右グラフは2026年1月6日～2026年1月20日。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。